

サイバーセキュリティ関連情報（8月号）

鳥取県警察本部サイバー犯罪対策課

○ 暗号資産を要求する脅迫メールに注意！

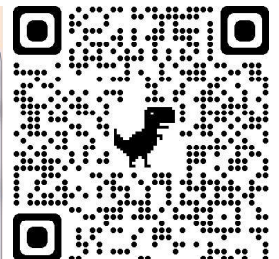
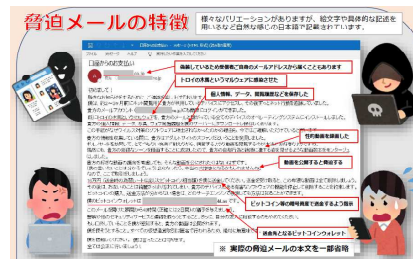
鳥取県警察本部サイバー犯罪対策課では、令和3年7月、「貴方がアダルトサイトを視聴している卑猥な姿を撮影した。この動画を公開されなくなかったらビットコインを送金して下さい。」という内容のメールが入ったとの相談を受けています。

これは性的な映像をばらまくと脅す『セクストーション（性的脅迫）』と呼ばれるサイバー犯罪の手口の一つで、近年、急激に高騰しているビットコイン等の暗号資産で支払いを要求する事例が増えており、注意が必要です。

脅迫メールの内容には様々なバリエーションがありますが、『マルウェアに感染させた』『個人情報や閲覧履歴等を保存した』『性的動画を撮影した』等の具体的な記述がなされ、『動画を公開する』と脅迫し、送金先のアドレスとなる『ビットコインウォレット』が記載されるなど、自然な感じの日本語が用いられているのが特徴です。

また、その他の事例では、絵文字『(^_^)』が使用されたり、送信元が『受信者ご自身のメールアドレス』から届くケースも確認されています。

このような脅迫メールを受信しても慌てず無視し、支払いや送金の指示に従うこと無く、冷静に対処しましょう。詳しくは、令和3年7月9日発行の啓発チラシをご覧ください。



URL 鳥取県警察本部HP <https://www.pref.tottori.lg.jp/secure/1206043/kyouhaku.pdf>

○ 警察庁が「令和3年版警察白書」を公表

警察庁は、7月20日、令和3年版警察白書を公表しました。

「東日本大震災から10年を迎えて」、「新型コロナウイルス感染症をめぐる警察の取組」などと共に「サイバー空間の安全の確保」と題する特集が生まれ、深刻化するサイバー犯罪やサイバー攻撃に対する警察の取組みが紹介されています。

白書では、令和2年中のサイバー犯罪の検挙件数が全国で過去最多となったことが解説されているほか、金融機関、宅配事業者等を騙るフィッシングによる不正アクセス事案やネットバンキング不正送金事犯の推移、マスク詐欺や虚偽情報の流布などの新型コロナウイルス感染症に関連する事案の発生、キャッシュレス決済サービスをめぐる犯罪の状況、SMS認証の不正代行の実態などについて詳細が記載されています。

また、国内外で政府機関や民間企業を標的としたサイバー攻撃が相次いだほか、宇宙航空研究開発機構（JAXA）などへのサイバー攻撃をめぐり、警視庁が中国共産党員の男を書類送検した事件について中国人民解放軍が関与している可能性が高いことが明記されています。

冊子は税込み1,650円で市販されますが、PDFファイルや電子版が警察庁のウェブサイトから無料でダウンロードできますので、組織のセキュリティ担当者やサイバーセキュリティに興味がある方は、この機会に、ぜひ、ご確認下さい。

URL 警察庁HP <https://www.npa.go.jp/hakusyo/r03/index.html>

